

19.1.30 読売新聞

春まで出現

春の到来を告げるカミクラゲ
(鴨川シーワールド提供)



謎のクラゲ

鴨川シーワールド

*50匹展示

鴨川市の水族館「鴨川シーワールド」で、春の訪れを告げる「カミクラゲ」約50匹の展示が始まり、来館者を楽しませている。

同水族館によると、カミクラゲは、髪の毛のような触手をなびかせて浮遊する姿が名前の由来。冬から春にかけて日本の太平洋沿岸に現れ、房総半島では東京湾内の漁港などに姿を見せる。出現する季節以外の生態は謎に包まれており、桜の花が散る4月頃には姿を消してしまうという。

同水族館のスタッフが今月19日、富津市大貫の漁港で、カサの大きさが1〜3センチほどのカミクラゲを採集した。「Kuraage Life」のコーナーで4月上旬まで公開する予定で、同水族館は「期間限定でしか見ることでできない神秘的なクラゲ。ぜひ見に来て」とPRしている。問い合わせは同水族館(04・7093・4803)。